

厳しい環境の中、納付金の大幅減により、今年度も黒字を維持することができました

健康保険組合連合会が発表した全国の健康保険組合の平成31年度早期予算集計結果は、経常収支差引額で986億円の赤字となりました。

平成30年度予算に比べ、赤字額は縮小しましたが、依然、全体の約6割を超える856組合が赤字の状況、保険料率は12年連続で増加しています。

今後も、高齢化の進行とそれともなう医療費および薬価の高騰によって国民医療費は増え続け、健康保険組合の負担もさらに増加すると思われます。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2022年以降に向けて、高齢者医療制度の負担構造の見直しが喫緊の課題で、迫りくる超高齢化社会において制度改革は欠くことができないところです。

こうした状況の中、当健保組合の平成30年度決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

基礎数値

(平成30年3月現在)

被保険者数	男	1,928人
	女	857人
	合計	2,785人
平均標準報酬月額	437,894円	
総標準賞与額 (年間合計)	4,531,394千円	
被扶養者数	2,802人	

一 般 勘 定 (健康保険)

収 入

平均標準報酬月額・総標準賞与額の伸び悩みでわずかながら減収

収入面では、被保険者数がほぼ横ばいで、平均標準報酬月額と総標準賞与額については減少したため、保険料収入は前年度より41万円の減収となりました。また、繰越金より1億円を繰り入れ、収入総額は18億475万円となりました。

収入

単位：千円

保 険 料 収 入	1,672,364
国庫負担金収入・その他	384
調 整 保 険 料 収 入	25,043
繰 越 金	100,000
国 庫 補 助 金 収 入	212
財 政 調 整 事 業 交 付 金	4,720
雑 収 入	2,026
収 入 総 額	1,804,749
経 常 収 入	1,674,986

支 出

前期高齢者納付金の精算の戻りで一時的に負担減に

医療費として支払われる保険給付費は、前年度より3,626万円増加の7億5,987万円となりました。

また、組合財政を圧迫する主要因ともいえる納付金については、今年度も前期高齢者納付金の精算の戻りがあり大幅に減少したため、納付金全体で前年度に比べて1億5,630万円の減少となりました。

保健事業につきましては、30年度も疾病予防や健康増進のための事業を可能な限り実施いたしました。

結果、平成30年度の収支差引額は3億8,673万円の黒字に、経常収支差引額においても2億8,173万円の黒字で終わることができました。

支出

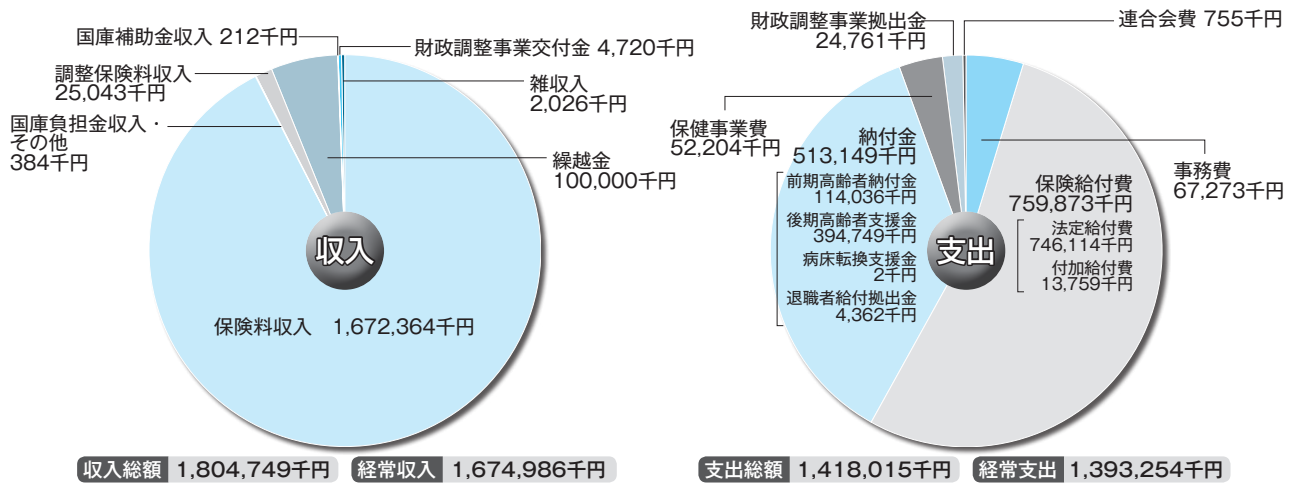
単位：千円

事 務 費	67,273
保 険 給 付 費	759,873
法定給付費	746,114
付加給付費	13,759
納 付 金	513,149
前期高齢者納付金	114,036
後期高齢者支援金	394,749
病床転換支援金	2
退職者給付拠出金	4,362
保 健 事 業 費	52,204
財 政 調 整 事 業 拠 出 金	24,761
連 合 会 費	755
支 出 総 額	1,418,015
経 常 支 出	1,393,254

単位：千円

一般勘定収支差引額	386,734
経常収支差引額	281,732

一般勘定（健康保険）



経常収支差引額：281,732千円

介護勘定（介護保険）

各市区町村が保険者として運営している介護保険の保険料徴収は、健康保険組合が代行して行っています。組合に加入する40歳以上64歳までの方々に対する介護保険料として徴収し、各市町村へ納めています。介護保険の第2号被保険者数は、2,584人でした（被扶養者を含む）。

平成30年度は介護保険収入が1億8,826万円、介護保険納付金が2億666万円となりました。繰越金より4,700万円の繰り入れとなりました。

収入		単位：千円
介護保険収入	188,261	
繰越金	47,000	
国庫補助金受入	2,409	
雑収入	1	
合計	237,671	

支出		単位：千円
介護納付金	206,662	
合計	206,662	
介護収支差引額	31,009	

組合会選定議員異動の公告

組合会 選定議員の異動がありましたので、組合同約第15条、第40条、並びに第52条に基づき下記のとおり、公告します。

就任議員の任期………令和2年8月20日まで

就 任		
氏 名	役 名	就 任 日
後藤 康之	常務理事	令和1年7月18日
塚野 克洋	選定議員	令和1年7月18日

退 任		
氏 名	役 名	退 任 日
三宅 正洋	常務理事	令和1年7月17日
小島 伸一	選定議員	令和1年7月17日